

日本の城の最高峰へ大坂城の魅力に迫る

「大坂の陣」の後、徳川幕府による大坂城再築工事によって建てられた数々の櫓と蔵。城内の要所に位置し、監視や防衛、武器庫にも使われた施設の一部を特別に公開します。

大坂城の櫓

やぐら

重要文化財

内部特別公開

公開期間

平成28年1月9日(土)~6月5日(日)



多聞櫓



千貫櫓



焔硝蔵



足軽に扮装したスタッフが出現! 銃眼から火縄銃を構えてみよう!! ※土日祝のみ実施予定

公開時間 **10:00~16:30** (最終入場16:00)
※チケット販売終了時間15:30

定休日 月曜日定休 (月曜日が祝の場合は翌日 ※西の丸庭園に準じる)
※臨時休止する場合があります。「大坂城パークセンター」ホームページでご確認ください。

券売所 西の丸庭園前

| | | | |
|------|---------|-----------|--------|
| 入場料金 | 櫓入場券 | 大人(高校生以上) | 700円 |
| | | 小人(中学生以下) | 300円 |
| | 天守閣セット券 | 大人(高校生以上) | 1,200円 |

※未就学児:無料 ※上記料金で公開する全ての櫓と蔵をご覧いただけます。
※櫓特別公開の入場券をお持ちの方は、西の丸庭園に無料でご入場いただけます。
※料金は税込みです。

アクセス (地下鉄)【谷町線】「谷町四丁目駅」1-B号出口、「天満橋駅」3号出口
【中央線】「谷町四丁目駅」9号出口

お問合せ 大坂城パークセンター TEL:06-6755-4146 <http://osakacastlepark.jp/>



大坂城の 櫓

やぐら

重要文化財

内部特別公開

公開
期間

平成28年1月9日(土)~6月5日(日)



見どころ



多聞櫓

多聞とは松永久秀の居城多聞城の建物に由来する様式名。大阪城の他の櫓形(ますがた)にもあったが、現存するのはこれのみ。下に鉄板張りの大門(おおもん)を備える渡櫓(わたりやぐら)、南に折れ曲がってのびる続櫓(つづきやぐら)からなる。合わせた面積は710平方メートル余り、高さは14.7メートルもある。寛永5年(1628)ごろ創建、落雷焼失のち嘉永元年(1848)再建、昭和44年(1969)解体修理。



千貫櫓

大手門を北から防御する重要な役割を果たした二層の隅櫓(すみやぐら)。名称は石山本願寺を攻めた信長軍がこの付近にあった櫓を攻めあぐね、「千貫文出しても奪いたい」といわれたことに由来するという。元和6年(1620)創建、昭和36年(1961)解体修理。



焔硝蔵

焔硝とは黒色火薬のことで、この蔵は火薬庫である。引火防止のため壁・床・天井とも花崗岩の切り石としくいで固められた頑丈な建物で、こうした構造の焔硝蔵は現存唯一。文献資料の調査により、貞享2年(1685)築造であることが判明した。昭和35年(1960)解体修理。

